

2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <https://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	11,562	20.6	834	5.8	833	6.8	566	12.9
2022年9月期第3四半期	9,583		788		780		501	

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 567百万円 (11.1%) 2022年9月期第3四半期 510百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	30.52	
2022年9月期第3四半期	27.83	27.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第3四半期	8,785	3,147	35.1	167.31
2022年9月期	7,644	2,800	36.3	149.61

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 3,081百万円 2022年9月期 2,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		10.00	10.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年9月期の配当予想については未定です。

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	28.2	1,100	15.2	1,080	14.6	748	23.4	41.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	19,181,600 株	2022年9月期	19,171,000 株
期末自己株式数	2023年9月期3Q	764,625 株	2022年9月期	619,025 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	18,543,857 株	2022年9月期3Q	18,014,375 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2023年9月期の配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動は正常化に向けて回復基調で進み、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方、海外経済の減速が我が国の景気を下押しするリスクとなっているほか、エネルギー価格、資源価格の高騰や物価上昇、金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは当連結会計年度を成長加速期の2期目として、積極的な投資を行い、長期ビジョン達成に向けた道筋を作ることを目指し、国内事業の収益基盤強化、海外事業の成長拡大、新事業の創造に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高11,562百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益834百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益833百万円（前年同期比6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益566百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、各事業セグメントの売上高には、事業セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

① 住設・建材EC事業

国内におきましては、継続購入促進策の実施により既存顧客の稼働数が増加したことに加え、WEB広告をはじめとした各種の集客施策により登録会員数が増加したこと、また、高単価商材の販売や市況影響による段階的な値上げ、クロスセルの促進などにより購入単価が上昇し、第3四半期累計売上高は過去最高となりました。急激な為替の変動や資材価格の高騰により粗利率が若干低下しておりますが、取引先との仕入価格交渉やカタログ発行に伴う価格改定により、通期では粗利率の改善を見込んでおります。主力の洗面カテゴリでは、前期に発売した当社らしいミニマルデザインのミラーボックスや、スタイリッシュなフロートタイプの洗面台の売上が非常に好調なほか、売上構成比率で第3位の建具カテゴリも大きく売上を伸ばしております。

海外におきましては、中国での強いコロナ規制により数ヶ月ビジネスが滞った影響もありましたが、規制緩和後は商談も活発化し案件獲得に向けて取り組んでおります。また、インドネシアでは現地の日系企業と連携し、同社に運営・管理を委託する形でショールームを開設し、テスト営業を開始いたしました。

以上の結果、売上高10,669百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益1,301百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

② 住宅事業

住宅事業におきましては、市場の冷え込みの影響を受け住宅販売が振るわなかったことに加え、資材価格高騰による影響を吸収しきれず、売上、利益ともに計画から大幅に遅れておりますが、他の建売住宅との差別化を図るため、サンワカンパニーの人気商品を採用したコラボハウス《Bright Lazo》を開発するなど、今後の売上及び利益の拡大に向けた取り組みも進めております。

一方、当社と加盟工務店が一体となって自由設計でデザイン性の高い住宅設計を可能としていくサービス《ASOLIE》では、新規加盟工務店が順調に増加しており、加盟工務店がデザインコードを利用して建築した《ASOLIE》の家が完成したほか、加盟工務店へ向けた住設・建材の売上も増加しております。

以上の結果、売上高901百万円（前年同期は41百万円）、セグメント損失49百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ1,141百万円増加し、8,785百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加472百万円、棚卸資産の増加393百万円、差入保証金の増加131百万円、売掛金の増加22百万円を計上したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ794百万円増加し、5,637百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加871百万円、前受金の増加129百万円を計上した一方で、長期借入金の減少138百万円、賞与引当金の減少87百万円を計上したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ347百万円増加し、3,147百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加380百万円、新株予約権の増加41百万円を計上した一方で、自己株式の増加89百万円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,386,891	1,859,022
売掛金	859,906	882,624
契約資産	6,913	16,698
棚卸資産	2,526,276	2,919,606
その他	185,676	335,630
貸倒引当金	△21,203	△21,203
流動資産合計	4,944,462	5,992,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	920,481	868,351
リース資産（純額）	3,060	2,835
土地	93,309	93,309
建設仮勘定	4,515	40,881
その他（純額）	67,549	73,596
有形固定資産合計	1,088,917	1,078,974
無形固定資産		
のれん	210,547	177,303
その他	73,352	66,699
無形固定資産合計	283,900	244,002
投資その他の資産		
投資有価証券	284,160	298,910
関係会社株式	0	905
関係会社長期貸付金	133,000	133,000
長期前払費用	645,750	615,920
差入保証金	325,551	456,652
繰延税金資産	50,966	77,784
その他	20,312	20,369
貸倒引当金	△133,000	△133,000
投資その他の資産合計	1,326,742	1,470,544
固定資産合計	2,699,559	2,793,521
資産合計	7,644,022	8,785,901

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,095,406	1,154,035
前受金	400,573	529,972
短期借入金	1,281,820	2,153,400
1年内返済予定の長期借入金	157,913	179,625
未払法人税等	287,481	173,040
契約負債	26,040	29,953
賞与引当金	153,146	65,553
工事損失引当金	1,012	—
その他	516,315	560,273
流動負債合計	3,919,707	4,845,853
固定負債		
長期借入金	617,994	479,408
資産除去債務	300,869	306,122
その他	4,770	6,545
固定負債合計	923,633	792,075
負債合計	4,843,340	5,637,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,612	805,481
資本剰余金	748,612	755,481
利益剰余金	1,431,008	1,811,538
自己株式	△216,186	△305,824
株主資本合計	2,762,046	3,066,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,523	14,634
その他の包括利益累計額合計	13,523	14,634
新株予約権	25,111	66,661
純資産合計	2,800,681	3,147,972
負債純資産合計	7,644,022	8,785,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,583,800	11,562,106
売上原価	5,896,318	7,412,143
売上総利益	3,687,481	4,149,962
販売費及び一般管理費	2,899,397	3,315,959
営業利益	788,084	834,003
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	11
受取保険金	1,055	3,059
投資事業組合運用益	—	10,908
その他	443	4,812
営業外収益合計	1,500	18,792
営業外費用		
支払利息	2,313	14,322
株式報酬費用	3,278	—
その他	3,167	4,666
営業外費用合計	8,759	18,988
経常利益	780,826	833,806
特別利益		
固定資産売却益	—	30
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産売却損	203	—
固定資産除却損	156	10
特別損失合計	359	10
税金等調整前四半期純利益	780,466	833,825
法人税、住民税及び事業税	263,189	295,084
法人税等調整額	15,936	△27,308
法人税等合計	279,126	267,776
四半期純利益	501,340	566,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	501,340	566,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	501,340	566,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,107	1,111
その他の包括利益合計	9,107	1,111
四半期包括利益	510,447	567,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	510,447	567,161
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式145,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が89百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が305百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	9,542,704	19,267	9,561,972	—	9,561,972
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	18,900	18,900	—	18,900
顧客との契約から生じる収益	9,542,704	38,167	9,580,872	—	9,580,872
その他の収益	—	2,927	2,927	—	2,927
外部顧客への売上高	9,542,704	41,095	9,583,800	—	9,583,800
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,542,704	41,095	9,583,800	—	9,583,800
セグメント利益又は損失(△)	1,166,214	△17,901	1,148,312	△360,228	788,084

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△360,228千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△308,758千円及び子会社株式の取得関連費用△51,469千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、当社が株式会社ベストブライトの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前事業年度の末日に比べ「住宅事業」セグメント資産が1,292,612千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「住宅事業」セグメントにおいて、株式会社ベストブライトの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間において、221,629千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	10,663,173	786,287	11,449,461	—	11,449,461
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	109,716	109,716	—	109,716
顧客との契約から生じる収益	10,663,173	896,004	11,559,178	—	11,559,178
その他の収益	—	2,927	2,927	—	2,927
外部顧客への売上高	10,663,173	898,932	11,562,106	—	11,562,106
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6,698	2,309	9,007	△9,007	—
計	10,669,872	901,241	11,571,113	△9,007	11,562,106
セグメント利益又は損失（△）	1,301,793	△49,230	1,252,562	△418,559	834,003

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△418,559千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。